

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 教育庁

所属名 高校教育課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦ふくい県立高校魅力向上プラン策定事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和8年度	令和8年度	1,940				1,940	—
地域の普通科系高校魅力向上支援事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和11年度	4,992		2,496		2,496	継続
福井県きぼう応援海外留学奨学金給付事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成28年度	令和11年度	21,980			21,980		継続
「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成26年度	令和11年度	455				455	継続
㊦恐竜を核とした学習・交流機会創出事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和8年度	令和8年度	945				945	—
統合型WEB出願システム運用事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和8年度	6,202				6,202	継続
外国人生徒支援事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和3年度	令和11年度	188				188	継続
高校生の探究的な学び応援事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和6年度	令和11年度	10,627		1,584		9,043	継続
ふくい未来人材育成事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	令和11年度	17,500		8,750		8,750	—
英語力向上事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成23年度	令和11年度	30,474		3,300	5,894	21,280	継続
ふくいサイエンスプロジェクト事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成27年度	令和11年度	2,758			571	2,187	継続
高校生次世代系人材育成事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和5年度	令和11年度	5,854		2,513	600	2,741	継続
福井フューチャーマイスター事業	夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	平成27年度	令和11年度	9,499		158		9,341	継続
高度な職業教育推進事業	夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	平成28年度	令和11年度	12,145		3,726		8,419	継続
全国高校生プレゼン甲子園開催事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	6,903			4,500	2,403	継続
教員指導力向上推進事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和11年度	5,967			1,759	4,208	継続
生徒の進学希望実現応援事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和11年度	1,067		205		862	継続
既卒生の学習支援事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和11年度	3,358				3,358	継続
㊦県立高校グローバル人材育成事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	令和11年度	14,337		3,970	6,396	3,971	拡充
定時制・通信制キャリア教育推進事業	2.ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和7年度	令和11年度	2,085		1,042		1,043	継続

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 教育庁

所属名 高校教育課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦プロ人材高校地域人材育成事業	夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	令和8年度	令和11年度	11,715		10,000		1,715	—
特別支援教育に関する支援体制充実事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和2年度	令和11年度	853				853	継続
特別支援教育専門性向上事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和2年度	令和11年度	1,712		218	344	1,150	継続
特別支援学校キャリア教育推進事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和2年度	令和11年度	3,178				3,178	継続
㊦インクルーシブ教育推進事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和6年度	令和8年度	3,548		3,548			拡充
医療的ケア児通学支援事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	令和11年度	9,252		3,035		6,217	継続
㊦特別支援学校「居住地校交流」促進事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和8年度	令和11年度	4,234				4,234	—
先端技術を取り入れた教育力向上事業	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	平成24年度	令和7年度						整理統合
未来の産業教育プーストアップ事業促進事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和3年度	令和7年度						廃止
協働型産業人材育成プロジェクト事業	1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和1年度	令和7年度						整理統合
ふくいの産業教育推進事業	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	令和3年度	令和7年度						整理統合
高大連携による地域人材育成事業	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	政策的経費	令和2年度	令和7年度						整理統合
武生商工高校通学支援事業	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	政策的経費	令和7年度	令和7年度						完了
特別支援教育DX事業	3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現	政策的経費	令和4年度	令和7年度						整理統合
					193,768		44,545	42,044	107,179	

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり			事業開始年度	令和8年度
⑧ 新 ふくい県立高校魅力向上プラン策定事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	国においては、公立高校への支援拡大を含む高等学校教育改革の検討が進められている。本県においても、こうした国の動向を踏まえ、県立高校の魅力と教育の質の一層の向上を図るため、新たに「ふくい県立高校魅力向上プラン（仮称）」を策定する。				
事業内容	ふくい県立高校魅力向上プラン策定委員会（仮称）の開催 県立高校の魅力向上と将来構想の具体化を図るため、有識者や教育関係者等から幅広い意見を聴取し、県立高校の特色ある学びや活動の拡充、魅力発信の方策を検討するとともに、地域ごとの将来構想について議論する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,940				1,940
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	魅力向上や将来構想のプラン策定数（件）	1		令和8年度
	活動指標	委員会・協議会実施数（回）	5		令和8年度
事業評価	-				
区分	-				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり			事業開始年度	令和7年度
地域の普通科系高校魅力向上支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	福井県で学ぶことに意欲をもつ生徒を全国から募集することで、地域の普通科高校を活性化し、魅力向上につなげる。				
事業内容	丸岡・若狭・勝山高校において、全国から生徒の募集を行い、県外の生徒によるプロジェクト型活動・地域イベントへの参加や県内の生徒との協働・切磋琢磨を通じて、高校の魅力向上や地域の魅力の再発見、活性化を図る。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,992		2,496		2,496
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域みらい留学を利用して県立高校に入学した生徒数	16	16	令和7年度
	活動指標	地域みらい留学実施校	3	3	令和7年度
事業評価	地域みらい留学を利用した出願者数（R8.1.22現在） 丸岡高校（定員5名） 9名（倍率1.8倍） 若狭高校（定員6名） 10名（倍率1.7倍） ※定員内訳：各科2名 総計6名 ※出願者内訳：普通科4名、文理探究科3名、海洋科学科3名 勝山高校（定員5名） 6名（倍率1.2倍）				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	平成28年度
福井県きぼう応援海外留学奨学金給付事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	世界を舞台に活躍できる人材を育成するため、海外の高校へ長期留学する高校生を支援する。				
事業内容	県内の高校生による海外の高校への長期留学を支援 対象：留学先の高校において、1年間または2年間の修学を行うもの（教育上有益であると認められるものに限る。）。 給付額：教育委員会が必要と認めた額				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	21,980			21,980	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	給付件数	7	3	令和7年度
	活動指標	奨学金制度の案内を行った学校数	29	29	令和7年度
事業評価	活動指標は目標どおり達成したが、成果指標は未達成となった。 (要因) 制度の周知が各高校への募集要項の送付と留学説明会の実施のみであり、県内高校生への周知が不十分だったことが考えられる。次年度以降は新聞への留学体験記の掲載やSNSでの周知を実施する予定である。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	平成26年度	
	「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	高校生が、将来に向けて具体的な目標を持ち、それぞれの目標に向かって学習意欲を高めていけるように、福井県ゆかりの第一線で活躍する企業経営者等を講師とした授業、および各学校から要望が挙がった職業に就いている社会人によるセミナーを実施し、キャリア教育の充実を図る。				
事業内容	(1) 福井県ゆかりの講師（ふるさと先生）による授業 (2) 各分野（職業）で活躍している社会人による「キャリア教育セミナー」（県内外の第一線で活躍する社会人）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	455				455
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	夢や希望を持つことができた生徒の割合	90%	91%	令和7年度
	活動指標	実施校数	8		令和7年度
事業評価	活動指標は目標どおり達成したが、成果指標については令和8年4月に判明。				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2 ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	令和8年度
⑧ 恐竜を核とした学習・交流機会創出事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	恐竜化石の一大産地であり、恐竜をテーマとした博物館や大学などの学術機関が立地する勝山において、中高生による恐竜を中心とした学びや交流を推進することで、地域における学びの魅力化や活性化を図る。				
事業内容	「恐竜」をテーマとした古生物学・地質学や「地球」をテーマとした地球物理学・地理学など、自然の多様性や仕組みを学習するために、必要な備品（偏光顕微鏡、岩石プレパラート、簡易堆積実験装置など）を導入				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	945				945
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	「ジオ探究」受講生徒数（人）	10		令和8年度
	活動指標	「ジオ探究」実施回数（回）	35		令和8年度
事業評価	-				
区分	-				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和2年度
統合型WEB出願システム運用事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県立学校入試におけるインターネットを利用した統合型WEB出願システムを導入したことにより、出願手続きのペーパーレス化および、書類作成、願書受付、名簿作成等の業務負担の軽減を行う。また、出願者名簿を基にしたWEB上の合格発表を行うことで迅速な情報公開を行う。				
事業内容	教員の業務効率化を図ることで、生徒と向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるため、統合型WEB出願システムを導入する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,202				6,202
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標				
	活動指標				
事業評価	令和8年度入試（令和7年度実施）において、WEB出願システムを適正に運用した。 （参考） 令和8年度入試（令和7年度実施）におけるシステム利用者数 高校：6,504人 中学校：222人				
区分	継続	※システムの導入に係る事業であり、定量的な目標値を設置することは困難である。			

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1	個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
3	多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和3年度
外国人生徒支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	日本語指導が必要な生徒に対する支援体制を充実させ、外国人生徒が自立できる力を育成するなど、共生社会の実現に向けた外国人生徒の教育の充実を図る。				
事業内容	(1) コミュニケーションサポーターを配置 生徒・保護者と教員・学校間のコミュニケーションを補助 (2) 日本語能力試験受験料補助 外国人生徒で日本語指導が必要な生徒に対して年1回受験料を補助				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	188				188
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	コミュニケーションサポーター配置数において日本語レベルが向上した外国人生徒の割合 (%)	100		令和7年度
	活動指標	コミュニケーションサポーターと連絡協議会の開催回数 (回)	3	3	令和7年度
事業評価	活動指標は達成したが、成果指標については令和8年6月に判明。				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和6年度
高校生の探究的な学び応援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	新学習指導要領が掲げる「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、総合的な探究の時間などに探究的な学びの授業が行われている。そこで探究活動内容の合同発表会の開催や探究系全国大会に挑戦する生徒への支援、地域と学校や地元大学と学校との連携強化の支援を行うことにより、高校生の探究的な学びの充実を図る。				
事業内容	(1) 課題研究等の学校を越えた合同発表会を開催し、専門家が指導助言する場を支援 (2) 探究系全国大会（決勝・本選）に出場する生徒を支援 (3) 地域おこし協力隊による高校生の探究活動支援と県立高校の魅力発信 (4) 学校間連携コーディネーターの配置				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,627		1,584		9,043
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	探究系全国大会出場生徒チーム数	6チーム	9チーム	令和7年度
	活動指標	高校生探究フォーラムの参加生徒数	350人	450人	令和7年度
事業評価	高校生探究フォーラムの開催や全国大会参加への支援により高校生の探究的な学びの充実を図ることができた。 <事業実績> 高校生探究フォーラム参加生徒数：450名（R6 386名） 高校生探究フォーラム参加生徒アンケート結果 ポスターセッションに対して非常に満足・満足と答えた生徒：97.1%（R6 99.7%） 後輩にフォーラム参加をぜひ勧めたい・勧めたいと答えた生徒：93.7%（R6 96.2%） 全国大会に出場する生徒チーム数：9チーム19名（R6 4チーム13名）				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和7年度	
	ふくい未来人材育成事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	自分の将来や生き方を考える機会を提供する「ライフデザイン教育」を推進し、生徒が将来の夢や目標を描き、それに向かって挑戦する姿勢を育むとともに、Uターンを含めた地元就職・地元進学を意識向上を図る。				
事業内容	(1) 福井の未来と地域政策を考える「地域デザイン講座」の開催 (2) 地域の核となる魅力的な学校づくりに向けた各学校独自の取組みを支援 (3) 地域に関わる取組みを行う高校生を表彰する「高校生チャレンジアワード」の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	17,500		8,750		8,750
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域課題の解決に取り組む生徒チーム数	15	107	令和7年度
	活動指標	地域デザイン講座の開講数(回)	10	19	令和7年度
事業評価	成果指標、活動指標ともに目標を上回って達成。 <事業実績> ・地域デザイン講座の開催数 19校 ・高校生チャレンジアワードの応募数 107件(322名) (令和8年3月16日に優れた取組みについて、実践発表を実施)				
区分	—				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	平成23年度
英語力向上事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	生徒の英語コミュニケーションの機会を充実させることにより、「使える英語力」を育成する英語教育を実践する。				
事業内容	(1) 高校生の外部検定試験費用の補助 (2) 高校生の友好提携都市の学生との交流を通じ、友好交流の促進と異文化理解の深化 (3) デイバート大会の実施、全国大会の参加費用および旅費、交通費の補助 (4) 国費高校生留学促進事業により語学研修費用を補助（国庫10/10） (5) 留学生を受け入れるホストファミリーに対する支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	30,474		3,300	5,894	21,280
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	英語力達成率（%）	55		令和7年度
	活動指標	教員対象研修実施回数（回）	8	8	令和7年度
事業評価	活動指標は達成したが、令和7年度の成果指標については令和8年6月に判明。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	平成27年度	
	ふくいサイエンスプロジェクト事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	生徒の個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図る。				
事業内容	(1) 全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策 (2) ふくい理数グランプリの開催 (3) ふくいサイエンス顕彰（南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞） (4) ふくいサイエンスフェスタの開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,758			571	2,187
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	科学系の全国大会上位入賞者数	5	1	令和7年度
	活動指標	ふくいサイエンスフェスタ参加生徒数	220		令和7年度
事業評価	成果指標は未達であった。活動指標については、令和8年4月に判明。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
2	ふくいの産業・社会を支える人づくり		事業開始年度	令和5年度	
	高校生次世代系人材育成事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	理工系分野への進学率が低い本県（特に理系女子）の現状を踏まえて、県内普通科系高校16校の女子生徒の参加希望者に対し、理系人材育成に係る特色ある取組みを推進する。				
事業内容	(1) ふくいGirl's 未来のテックリーダープロジェクト ①女性研究者によるリケジョの魅力・研究紹介、②首都圏研修（最先端企業訪問、キャリアトーク、体験実習）、③地元の企業、大学等で行うゼミ講座（データサイエンスゼミ、化学研究体験ゼミ） (2) 高校生の科学研究支援プロジェクト 事業応募生徒のうち希望者および希望者を含むグループに対し、探究を進めるための研究資金を支援する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,854		2,513	600	2,741
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	全国規模の科学研究コンテストの受賞数	3	1	令和7年度
	活動指標	研究支援公募への応募数	10	7	令和7年度
事業評価	成果指標・活動指標とも未達成であった。 （事業による要因） 研究支援公募の応募数について、対象の条件をテックリーダープロジェクトの参加者として限定的であったため、十分に集まらなかった。次年度は事業の対象校を拡大する。				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
学びをのばす（人材力）				経費区分	政策的経費
夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成				事業開始年度	平成27年度
福井フューチャーマイスター事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	職業系高校の生徒を対象に、専門知識と技術の習得の証である資格・検定の取得を支援することにより、将来の地域の産業・社会の発展に寄与する科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる職業人の育成を目指す。また、生徒が将来のキャリアに役立つ資格を取得するための指導を効果的に行うため、教員が積極的に資格取得を目指すことを支援し、教員の資質向上を図る。				
事業内容	(1) 高度な資格取得等を目指した高度技術者を招聘 (2) 高度な資格取得を支援 (3) 職業系学科教員等の指導力向上につながる資格等取得を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,499		158		9,341
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	福井フューチャーマイスター認定率	87.6	84.9	令和7年度
	活動指標	高度技術者による講座回数	32	33	令和7年度
事業評価	活動指標は目標達成、成果指標は4月に判明。 参考：令和7年度年間認定 プラチナ69名、ゴールド667名、シルバー394名 ブロンズ330名（3年生徒数1,719名）				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
学びをのばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成			事業開始年度	平成28年度	
高度な職業教育推進事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。				
事業内容	企業の生産現場における実践的な実習等を実施し、地元就職する高校生が産業界で活躍できるよう支援 ・県内企業でのインターンシップを実施 ・就職支援のため、求人開発や就職指導を行う産業人材コーディネーターを配置				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,145		3,726		8,419
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	高校卒業者の離職率	15.0		令和7年度
	活動指標	インターンシップ体験者数	1,900		令和7年度
事業評価	活動指標は令和8年4月に、成果指標は令和8年10月に判明。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和4年度	
	全国高校生プレゼン甲子園開催事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	全国高校生プレゼン甲子園を開催し、高校生の論理的思考力や表現力、創造力の育成や総合的なプレゼンテーション能力の向上を図る。				
事業内容	1次審査：応募作品（3分間のプレゼン動画）を審査 2次審査：1次審査を通過した21チームに対し、オンラインによる審査員との質疑応答を実施して審査 決勝大会：2次審査を通過した10チームのプレゼン（5分間）を審査				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,903			4,500	2,403
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	参加チーム数（チーム）	1,000	777	令和7年度
	活動指標	大会チラシ送付先数（件）	300	300	令和7年度
事業評価	成果指標は未達成となり、活動指標は達成した。 参考：第5回大会（R7年度実施）の出場総数 777チーム うち県内チーム365チーム（47.0%） 県外チーム412チーム（53.0%）				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす(人材力)				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和2年度
教員指導力向上推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	新学習指導要領や、生徒の多様化した問題や課題に対応するために、教員の資質・能力の向上を図る。				
事業内容	(1) 授業研究会、授業改善研修会への支援 大学教授などによる授業改善のための教員研修 (2) チーム学校による生徒指導研修会への支援 個々の学校の課題に応じた生徒指導体制年間計画を作成し教職員の生徒指導力向上のため研修会を開催 (3) 生徒の学習意欲等把握調査				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,967			1,759	4,208
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	生徒から見た授業のわかる度指数	80	82	令和7年度
	活動指標	授業研究会、授業改善研修会への支援件数	51	76	令和7年度
事業評価	成果指標、活動指標ともに目標を達成。 参考：令和7年度の支援件数 ・授業研究会、授業改善研修会 71件 ・生徒指導研修会 5件				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和2年度	
	生徒の進学希望実現応援事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	生徒の進学希望実現のため、生徒の学力の向上と進路意識の涵養を図り、各校の進学指導体制を支援・強化する。また、「福井県大学進学サポートセンター」を運営し、県立高校に在学する高い志を持った生徒が、在籍校に通いながら難関大学や地元国公立大学を目指すことができる進学支援体制を確保する。				
事業内容	<p>(1) 高校生のための進路支援講座の開催 「新入生と保護者のための進路セミナー」 高校1年生に対し、保護者も含めた新しい学びとキャリア形成の関りについて講演会を実施し、各校の進路指導を支援する</p> <p>(2) 「福井県大学進学サポートセンター」の運営 地域の県立普通科系高校（12校）に在学し、難関大学への進学を目指す生徒の学習を支援するため、県教育委員会内で「福井県大学進学サポートセンター」を運営</p> <p>(3) 「県内大学進学コース」の運営 地域の県立普通科系高校（12校）に在学する高校3年生で、地元国公立大学（特に福井大学、福井県立大学）への進学を目指す生徒の学習を支援するため、個別試験対策講座や小論文指導、面接指導などを実施</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,067		205		862
事業評価指標	成果指標	内 容	目標	実績	備考
		地域の普通科系高校12校からの難関大合格者数	5人以上		R7年度実績
	福井大学および福井県立大学の一般選抜入試定員に対する、地域の普通科系高校12校からの合格者数の割合	10.8%以上		R7年度実績	
	活動指標	「福井県大学進学サポートセンター」登録者数	200人	164人	R7年度実績
		「県内大学進学コース」登録者数	100人		R7年度実績
事業評価	活動指標の上段は目標を下回った。これまで主に難関大志望者をターゲットにしつつ、地元国公立大志望者も含め広く募集していたが、3年生において「県内大学進学コース」を新設したことで、多くの生徒がそちらに登録したことが原因と考えられる。 成果指標は令和8年4月に判明。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和2年度	
	既卒生の学習支援事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	県内既卒生の大学進学希望の実現を支援するため、自学自習できる学習環境を整備する。				
事業内容	○福井駅前に大学進学サポートセンターを設置し、自学自習できる学習室において、退職教員が学習を支援する。 ○1日1～2教科の学習会を実施するほか、模擬試験、進学相談などの支援を実施する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,358				3,358
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	大学進学サポートセンター登録者の大学入試合格率	58%		令和7年度
	活動指標	大学進学サポートセンター登録者数	55人	85人	令和7年度
事業評価	活動指標は目標を超えて達成しており、成果指標は令和8年4月に判明 令和6年度の成果指標の目標は達成				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和7年度
⑧ 県立高校グローバル人材育成事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	さらなる高校生の英語力の向上をはかり、海外大学への進学支援体制を充実させた「世界に羽ばたく」人材や「世界から福井に呼び込む人材」を育成する。				
事業内容	高校生英語サークル「ふくいグローバルサークル（FGC）」を創設し、活動を行う。 ・長期休業中に外国人留学生と3日間の「英語サマーキャンプ」を開催 ・国際交流協会や福井大学グローバル人材育成研究センターと連携した国際交流 ・海外研修「グローバルシチズンシップ研修」を実施 ・海外大学進学セミナーの実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,337		3,970	6,396	3,971
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	活動参加率（％）	75	40	令和7年度
	活動指標	登録人数（人）	50	137	令和7年度
事業評価	成果指標は未達成だったが、活動指標は達成した。 <実績>登録人数 11校 137名 <未達の要因> 週末や放課後に活動を設定したが、学校行事や部活動等で参加できる活動が限られた登録者が多く、参加率は目標を達成できなかった。しかし、活動ごとの目標参加人数は、おおむね満たすことができた。				
区分	拡充				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1. 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2. ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	令和7年度
定時制・通信制キャリア教育推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	定時制・通信制の多様な背景を有する生徒に対し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、望ましい職業観・勤労観を身に付け、将来自分に合った仕事に就職できるよう支援を行う。				
事業内容	(1) キャリア教育にかかわる社会体験活動への支援 県立7校の定時制・通信制が学校ごとに実施する地元企業見学ツアーや地域の社会貢献活動等の交通費を支援 (2) 定時制・通信制生徒対象の合同企業説明会への支援 県立7校の定時制・通信制の生徒および保護者を対象とした合同企業説明会の開催を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,085		1,042		1,043
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内定時制通信制の離職率	10%	14.2%	令和7年度
	活動指標	合同企業説明会の参加者数	30人	60人	令和7年度
事業評価	成果指標指標は未達成。活動指標は、各企業の協力もあり達成することができた。活動を継続していくことで、成果につながるように学校の活動を支援していきたい。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
学びを伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成			事業開始年度	令和8年度	
⑨ プロ人材高校地域人材育成事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	福井県内の地域産業の人材育成を担う、プロ人材高校（職業系高校）が、地域産業界等と連携し、実践的な活動と魅力発信を強化することで、学校の持続的な発展と地域産業の人材育成に貢献することを目的とする。				
事業内容	(1) 特色あるプロジェクト活動の支援と成果発信 (2) プロ人材高校の生徒を派遣し、小中学校との協働的な学びを支援 (3) オンライン・出前授業「ふくいの産業」を実施 (4) プロ人材高校教員の教育力向上研修を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,715		10,000		1,715
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	職業系高校受験者の全体に占める割合（％）	29		令和8年度
	活動指標	探究的なプロジェクト活動実施数（校）	11		令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1	個人を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
3	多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和2年度
特別支援教育に関する支援体制充実事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	市町教育委員会を中心とした、地域における支援体制を強化する。 ICT機器を活用して学習環境を整備し、病気療養中の児童生徒の学習意欲向上や心理的安定を図る。 小・中・高等学校の教職員の特別支援教育に関する専門性を向上させ、発達障がい等の理解や移行支援の充実を図る。				
事業内容	(1) 支援体制強化 地域における支援体制強化および病気療養中の児童生徒へのICT機器の整備を実施 (2) 研修体制の充実 通級指導に関する研修会および実践研究および移行支援に関する研修会を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	853				853
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	特別支援教育に関する指導・助言可能な市町教委担当者数	17	21	令和7年度
	活動指標	連絡協議会の開催数	3	3	令和7年度
事業評価	成果指標、活動指標ともに目標を達成。 参考：特別支援教育担当者連絡協議会（4月、8月、2月）において、市町教育委員会と課題を共有し改善に向けた協議を行った。令和8年度より、県と市町教委担当者、関係機関等での情報共有をより円滑にするため、特別支援教育センターのHPシステムを活用する。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1 個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和2年度	
特別支援教育専門性向上事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	多様な障がいに対応するための専門的な知識の習得や、実践的な指導力の向上を目指した研修等とおして、特別支援学校等の教員の専門性を高める。				
事業内容	(1) 特別支援学校教諭免許状保有率の向上のため、免許法認定講習の実施 (2) 新学習指導要領に対応した授業改善およびICT機器を活用した指導力の向上 (3) 多様な障がいに関する専門的知識および支援や相談スキル等の習得のため、外部専門家研修の実施、教育相談研修の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,712		218	344	1,150
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	特別支援学級における特別支援学校教諭免許保有率	65%		令和7年度
	活動指標	特別支援学校における外部専門家研修実施回数	55		令和7年度
事業評価	成果指標の数値は令和8年5月に判明。活動指標の数値は令和8年3月末に判明。 教員の免許取得につながる免許法認定講習を継続して開講していく。 外部専門家研修では、特別支援学校において医療・福祉・ICT関連等の外部人材を活用して専門的な研修の充実を引き続き実施する。				
区分	継続				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1 個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和2年度	
特別支援学校キャリア教育推進事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	○農業体験など地域との連携・協働により、特別支援学校児童生徒の就労・学習意欲や職業スキルを向上させるなどキャリア発達を促進する。				
事業内容	(1) ライフキャリア活動 視覚、聴覚、肢体不自由、病弱のある児童生徒の社会自立および社会参加への意欲向上と地域理解の促進 (2) 農業体験活動 農業法人等による技術指導や校外での農業体験実習により、特別支援学校の生徒の農業への就労意欲および技能を向上 (3) 技能検定 専門分野の講師による直接指導や技能検定の実施により、特別支援学校中・高等部における作業学習の質を向上 (4) 地域貢献・交流 地域での販売会やJAとの連携、ボランティア活動など、社会貢献および交流活動を通して積極的な社会参加やキャリア発達を促進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,178				3,178
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農業体験実習受入企業等（数）	12	9	令和7年度
	活動指標	農業体験活動参加生徒（数）	150	165	令和7年度
事業評価	成果指標は未達成。 （外的要因） 猛暑、豪雪の影響により野外活動の計画を変更・中止せざるを得ないケースもあった。今後は実施時期や、農業分野でも屋内の活動の選択肢等も検討していく。				
区分	継続				
	活動指標は目標を超えて達成。今後は知的障がいに加え、視覚・聴覚・肢体不自由・病弱の対象校にも事業を拡大し、すべての障がい種においてキャリア教育を推進する。				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1	個人を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費
3	多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現			事業開始年度	令和6年度
㊦ インクルーシブ教育推進事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が交流及び共同学習を発展的に進め、一緒に教育を受けるインクルーシブな学校運営モデルを構築する。				
事業内容	(1) モデル校（清水特別支援学校と交流校）での発展的な「交流及び共同学習」（居住地校交流・学校間交流）を目指した授業研究 (2) 推進校（モデル校以外の県立特別支援学校10校と交流校）への普及拡大				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,548		3,548		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	障がいへの理解や活動に対する満足度（％）	70		令和7年度
	活動指標	交流及び共同学習の実施指定校（校）	3	3	令和7年度
事業評価	<p>成果指標は令和8年3月に判明。活動指標は達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習の実施指定校は、「インクルーシブ教育の推進」をスクールプランの主軸とすることで、インクルーシブな学校運営モデルの構築につなげることができた。 ・小中学校及び特別支援学校の教員、カリキュラム・マネージャー、大学教授、外部専門家、県教委等が協働し、異なる教育課程を踏まえた上で、交流及び共同学習の新しい授業スタイル（体育、音楽、図工、美術）を考案した。 				
区分	拡充				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和7年度	
	医療的ケア児通学支援事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	保護者の送迎が困難な場合においても、医療的ケアを必要とする児童生徒に学習の機会を保障するため、看護師が通学に使用する車両に同乗することで、医療的ケアを必要とする児童生徒の通学を支援する。				
事業内容	医療的ケア児の通学（登校）時の送迎車両に同乗する看護職員の配置を支援し、保護者の送迎が困難なときでも学習の機会を保障する				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,252		3,035		6,217
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	保護者送迎利用割合	60%		令和8年度
	活動指標	医療的ケア児の保護者1人当たりの平均利用回数	6		令和8年度
事業評価	成果指標、活動指標は令和8年4月に判明。				
区分	継続				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和8年度
⑧ 特別支援学校「居住地校交流」促進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	特別支援学校に通う児童生徒の「交流及び共同学習」（居住地校交流）を推進し、障がいの有無にかかわらず共に学び理解し合える場を広げ、障がいのある子を育てる家族の大きな喜びと安心感につなげる。				
事業内容	(1) 特別支援学校の児童生徒が居住する地域の学校と「交流及び共同学習」（居住地校交流）を実施する際の、タクシー等による移動支援 (2) 保護者負担の軽減による「交流及び共同学習」（居住地校交流）の推進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,234				4,234
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	交流および共同学習の実施回数（回）	300		令和8年度
	活動指標	障がいのある子と交流した相手校の児童生徒数（人）	3000		令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度	
1	学びを伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成		事業開始年度	平成24年度	
	先端技術を取り入れた教育力向上事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	職業系学科の担当教員および実習助手を県内・県外の試験研究機関、民間企業等に派遣し、各業界における最先端の専門知識や技術および幅広い見識に立った教科指導力の向上を図るとともに、その教員を核として教員全体の資質向上と学校の活性化を図る。				
事業内容	教員短期派遣研修 ・工業、農業、水産、家庭、商業、福祉から派遣する。 ・研修成果の教育現場への還元として、高教研各部会等での報告を行う。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	145			145	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標				
	活動指標	派遣研修参加教員数（人）	4	4	令和7年度
事業評価	活動指標は目標どおり達成した。 成果指標は定量的に把握することは困難であるが、令和7年度研修報告書からはスキル向上が認められる。				
区分	整理統合				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす(人材力)				経費区分	政策的経費
1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和3年度
未来の産業教育ブーストアップ事業促進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	産業界と専門高校が一体・同期化し、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築し、専門高校の職業人材育成の抜本改革を図る。				
事業内容	<p>第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築</p> <p>○産業界他関係者一体となったカリキュラム刷新・実践(コース、学科改編等)</p> <p>○企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用</p> <p>○マイスターハイスクールの取り組みを県内外へ普及促進</p> <p>【高校教育課】※事務局 「事業の総括と進捗管理及び、事業運営委員会の開催」「本事業のノウハウを県内職業系専門高校に普及」</p> <p>【福井県立坂井高等学校】※拠点校 「坂井高校コンソーシアムの教育活動での実践活用と、持続可能な組織としての確立」</p> <p>【福井県立武生商工高等学校】※拠点校 「地域自治体や企業と連携した商品開発等による地域活性」</p>				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,896		8,896		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	商品化・実用化された取組数	8	8	令和7年度
	活動指標	企業技術者による授業数	38	98	令和7年度
事業評価	活動指標・成果指標ともに目標を達成した。 (武生商工66 坂井32)				
区分	廃止				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度	
1	個性を伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進		事業開始年度	令和1年度	
	協働型産業人材育成プロジェクト事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	職業系高校の生徒が、地元産業界等と協働し実践的な学習活動を行うことで、将来の地域の産業・社会を担い発展に寄与する人材を育成するとともに、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる次代の福井の産業を担う職業人を育成する。				
事業内容	(1) 職業学科の魅力向上事業 ・職業系高校において多様な県内企業と連携した特色あるプロジェクト活動を実施 ・職業系学科の紹介冊子を作成 (2) ふくい産業教育フェア				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,801				10,801
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	職業系高校生徒数の県内就職率	92%		令和7年度
	活動指標	職業系学科魅力向上事業実施数	11校	11校	令和7年度
事業評価	活動指標は達成し、令和7年度の成果指標は令和8年4月に判明。 ふくい産業教育フェアを2会場（ハピテラス・敦賀駅西広場公園）で実施。 中学生向け県立高校職業系学科紹介冊子を作成し、県内全中学生（1～3年）に配布。				
区分	整理統合				

	教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度	
1	学びを伸ばす（人材力）		経費区分	政策的経費	
1	夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成		事業開始年度	令和3年度	
	ふくいの産業教育推進事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	シームレスな産業構造に対応した、福井県独自の職業学科共通科目「ふくいの産業」講座を充実するとともに、地元の産業について学ぶために、すべての職業系高校において外部講師による授業を実施する。				
事業内容	職業学科共通で「ふくいの産業」について学ぶために、外部人材による授業を実施<生徒向> ・地域産業の現状や行政および先端企業の取組を学ぶために、行政担当者、経営者・技術者等を講師に招いた授業を実施 ・外部講師による授業を、毎週火曜日PMに一斉配信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	168				168
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	職業系高校の県内企業への就職率	91	91.1	令和7年度
	活動指標	外部講師授業数	16	12	令和7年度
事業評価	成果指標は達成できたが、活動指標は未達成となった。 要因としては、「ふくいの産業」の実施にむけて企業とやり取りを行ったが、時間が合わなかったためである。				
区分	整理統合				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
2 ふくいの産業・社会を支える人づくり				事業開始年度	令和2年度
高大連携による地域人材育成事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	高校生が大学での学びを知るとともに、主に地元大学教員や企業・団体の研究員、OB大学生等が探究アドバイザーとして、地元大学への志望が多い高校（拠点校）で課題研究の指導を行うことで、高校や生徒と地元大学とのつながりを密にし、将来的に地域で活躍していく人材を育成する。				
事業内容	大学教員等による探究活動・課題研究への助言 学校間連携コーディネーターの配置 (対象：普通科高等学校5校（金津、大野、羽水、武生東、敦賀）)				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,068				4,068
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	3年後の県内4年制大学への進学者（進路実態調査）	1124		令和7年度
	活動指標	大学アドバイザーによる高校生への指導・助言回数	150		令和7年度
事業評価	令和7年度の事業評価指標はともに令和8年4月に判明				
区分	整理統合				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度
1 学びを伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成				事業開始年度	令和7年度
武生商工高校通学支援事業業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	現在の路線バスの乗車可能人数では、令和7年度にバス利用が見込まれる生徒の人数を賄えないため、新駅が開業するまでの1年に限り、路線バスを増便し、生徒の通学手段の確保を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の路線バスで乗車しきれない生徒の通学を支援するため、年間（土日祝日、長期休業を除く平日200日）を通して路線バスを増便する。 ・増便分の運行について赤字となる部分を県が補填する。 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	248				248
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	バス利用者数	1000		
	活動指標	全校生徒・保護者への周知	3	3	
事業評価	活動指標は達成したが、令和7年度の成果指標については令和8年3月に判明。				
区分	完了				

		教育庁	高校教育課	事業年度	令和7年度
1 個人を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
3 多様な個性や能力を育み、活かす共生社会の実現				事業開始年度	令和4年度
特別支援教育DX事業業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	・ICT機器を活用して学習環境を整備し、病気療養中の児童生徒の学習意欲の向上や心理的な安定を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・病気療養中の児童生徒が遠隔ロボットを活用して前籍校の授業に参加し、学習の機会を保障する。 ・病院内では味わえない体験を保障し、学習意欲につなげる。 ・前籍校の友達との繋がりを保ち、心理的な安定を図る。 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	382				382
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標				
	活動指標	遠隔ロボットを活用した児童生徒数	25	22	令和7年度
事業評価	<p>活動指標は未達となったが、入院中の病気療養児が前籍校の授業に参加したり交流したりすることにより、退院後の学校復帰に係る心理的不安を軽減することができた。</p> <p>※成果指標は、児童生徒の状況が大きく異なるため、定量的な成果の把握は困難である。</p>				
区分	整理統合				